

卓話 「最近話題になっていること」

鶴田泰政会員

最近、話題になっていることを鹿児島を中心に数字でもってグラフや表で話していきたいと思えます。

まず、人口についてですが少子高齢化によりそれが経済成長の足かせになってくるという話です。世界的には人口増加が続き 2050 年には 93 億人、2010 年の 69 億人から更に 24 億人も増加するという予想です。将来的には食糧難に陥るのではないかとこの予想もあります。日本はといいますと、2011 年度から人口減少が始まりました。労働力人口の減少により GDP は 1%前後ずつ減少していく、言わば国力の低下が心配になります。鹿児島県は 1985 年 181 万人から減少を続け 2011 年 169 万人、予測として 2040 年には 131 万人にまで減少するという予想がされます。



人口減少が経済に及ぼす影響ですが「消費」の面からは消費の絶対額が減りますので消費支出が減少します。すると、すべての市場で規模の縮小がおこります。ということは内需関連の企業には売り上げ減をもたらす業績悪化となりますので雇用・賃金の調整ということがおこります。雇用・賃金の調整がおこるとますます消費は冷え込み負の連鎖が起こることになります。

「生産」面ではどうかと言うと、労働力人口が減少しますと労働時間と労働生産性が一定という条件では GDP が減少します。経済の縮小均衡が起きるわけです。

それではこういった人口減少が続くなか経済面ではどのような対応策があるのでしょうか。人口を増やすのが一番なのですが、目先の短期的な対応策として検討すれば

「消費」面ではシニアマーケットの開拓、海外市場の開拓をしていくことです。鹿児島には良い農産物がありますので農産物の輸出に力を入れるというのは可能だと思います。そういう中で大消費地、上海への航空路線維持は鹿児島にとって大事なことだと思います。

「生産」面では何があるでしょう。まず、「省力化投資とローコスト・オペレーションの追求」があげられます。次に労働力不足に対して「女性の活用」があげられます。特にここでは、主婦に働いてもらう。そのためには子育て支援策が必要になります。専業主婦よりも共働きの女性のほうが出生率が高いというデータもあるようなので少子化対策にもなるかもしれません。あとは、「高齢者の活用」と「外国人労働者の受け入れ」です。双方ともコスト的にも魅力がありそうなので、若年労働者の雇用を妨げない範囲で活用する意義があるでしょう。

以上で人口問題については終わりたいと思えます。

第 12 回定例理事会

出席者:日高、峯山、宮田、下之角、玉利、今村、鮎川、八木、中拂

◇ 添付資料:①5 月分試算表②第 11 回理事会議事録

1. 5 月分試算表について 承認した。
2. 委員会構成表「クラブ週報・会報・広報」の会報について
会報がここ数年、発行されていないことにより、「会報」を削除することに決定した。
それに伴い、会則など関係する部分があれば、修正することとする。
3. 宮田年度の 55 周年のための積立金について
会費と一緒に徴収していた周年行事のための積立金は、宮田年度に限って徴収しないこととする。
4. その他
・中禮裕会員、師村博会員の 6 月末の退会を承認する。

市内クラブのプログラム ★印は例会場ないし例会時間変更

RC	例会日	プログラム	例会場
東	6/27(木)	定例夜間例会	山形屋
北		クラブ協議会	東急ホテル
サザン		会長幹事 任期を終えて	東急イン
鹿児島	6/28(金)	最終例会	山形屋
中央	7/1(月)	会員卓話 会長幹事就任の挨拶	山形屋
東南	7/2(火)		サンロイヤル
城西		会長幹事就任の挨拶	東急イン
西	7/3(水)	クラブ協議会	山形屋
西南		会長幹事就任の挨拶	ゆうづき

●出席委員会報告出席率向上にご協力を!

出席報告	第 2669 例会	6. 5 訂正
会員数	43 (35) 人	43 (35) 人
出席数	23 (21) 人	29 (27) 人
出席率	62. 16%	78. 38%

●今後の予定

7/3 (水)	第 1 回クラブ協議会 (新年度方針発表)
7/10 (水)	会員卓話 田中紀充会員